

<市長>

一宮市でも 65 歳以上の高齢者を対象とするワクチン接種を始めた。市医師会とも、今後のワクチン接種の円滑な実施に向けて協議を行った。

「高齢者向けのワクチン接種については、7 月末を念頭に終わられるよう取り組む」として、政府の意向を受けて、当初より予定を前倒しするべく、保健所だけでなく全庁的に対応していく必要があるため、急遽対策本部会議を開催する。

<病院事業部長>

現在の市民病院の状況については、近隣の諸病院の協力もあり、第 2 波、第 3 波と比べて負担は少ないと言える。

医療従事者へのワクチン接種については、1 回目の接種を既に終わっており、2 回目の接種は 5 月中旬に終了する予定。

5 月 31 日以降、市民病院での高齢者向けのワクチン接種は毎日 200 人程度を予定している。

<市民健康部長>

4 月 28 日に予約を受け付けた中保健センター分については、確保できたワクチン数量が少ないため、受付がすぐに終了した。今後も、保健センターをはじめ市内約 150 の医療機関においてワクチン接種を実施していくが、高齢者向けのワクチン接種の 2 回目の終了時期を 8 月中旬としていたため、今般の政府の意向を受けて、接種会場の追加や、人員や医薬材料の確保、ワクチンの配送や保管の問題など、短期間で検討すべきことが急激に増加した。具体的には、小中学校の屋内運動場を接種会場として活用する案が出ている。高齢者が終わった後もワクチン接種は続くため、様々な事務をさらに加速させていく必要がある。

また、今後の新規陽性者の状況によっては保健所への応援職員の派遣を各部に依頼することになるため、その場合は対応をお願いしたい。

<副市長>

ワクチン接種会場の増設にあたり、備品の状況確認が必要と考える。災害用に備蓄しているパーティションの活用等、転用できる備品の点検を始めるように。さらに、保健所とも連携し、接種にあたっての具体的な備品の必要量を把握されたい。

また、学校施設を活用するにあたって、夏季に実施することになるため、空調設備のある教室等の活用が望ましいのではないかと。

<総合政策部長>

市が備蓄している災害用備蓄物資のうち、転用が可能なものの数量を調査する。また、必要量が判明したら、危機管理監へ報告をお願いしたい。

<教育長>

小中学校にもパーテーションやテント等を備蓄しており、転用可能。

<市民健康部長>

ワクチンの供給スケジュールが分かってきたので、各医療機関で可能な追加接種の見通しについて市医師会から連絡をいただくことになっている。それを受けて、市側で追加が必要な接種会場の数や運営に必要な人員数等を検討する。

<副市長>

市内の複数の集団接種会場では、委託業者が運営することとなっている。市職員が運営に携わることになる前に、既設の接種会場を視察しておくことが望ましい。

<市長>

ワクチン接種を順調に進めることで、普段の日常を取り戻せるよう、一丸となって頑張っていきたい。